

再 評 価 調 査 書

整理番号 1

担当部 土木部道路建設課 国道G 内線4424

1 事業概要

(1)事業名	地方道路整備事業	(2)名称	国道118号那珂大宮バイパス
(3)事業主体	茨城県	(4)箇所名	那珂市飯田～常陸大宮市下村田
(5)採択年度	平成8年度	(6)完成予定年度	平成36年度
(7)事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・県北部地域における南北方向の主要幹線道路機能の向上を図る。 ・那珂市及び常陸大宮市の交通混雑緩和により円滑な交通の確保を図る。 ・常磐自動車道 那珂ICから奥久慈地域へのアクセス向上を図る。 		
(8)事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路延長 8,300m、幅員 28m/14m、4車線 ・用地買収、道路改良・舗装、橋梁（玉川橋梁、JR跨線橋、(仮称)下大賀高架橋) 		

2 再評価の理由

(1)再評価の理由	再々々評価	(2)当初完成予定	平成26年度
(3)未着工・事業が長期間要している理由	那珂大宮バイパスは、平成8年度から事業を進めているが、事業規模が大きく、また現道拡幅区間の沿道に営業店舗があり用地交渉が難航したため期間を要している。		
(4)前回指摘事項に対する対応状況（再々評価の場合）	委員会の意見	対応状況	
	継続することが妥当である。	指摘を踏まえ、平成26年度に静跨線橋の東側2車線の供用を図るとともに、(仮称)下大賀高架橋や玉川橋の整備を進めている。	

3 事業計画の変更

(1)完成年度の変更	平成31年度 → 平成36年度 5年延長 【理由】那珂市瓜連地内等の用地交渉に期間を要したこと、埋蔵文化財の発掘に期間を要したことから完成年度を5年延長する。
(2)事業内容の変更	—
(3)事業費の変更	13,000百万円 → 15,000百万円 2,000百万円増 【理由】法面対策や軟弱地盤対策等に伴う工事費の増大や、埋蔵文化財発掘調査の追加などによる。

4 進捗状況と今後の見通し

(1)事業進捗状況	全体	前年度	前年度まで	進捗率
事業量(m)	8,300	400	2,000	24%
事業費	工事費	854	5,309	61%
	用地買収補償費	156	2,501	40%
	計(百万円)	1,000	8,800	59%
(2)関連事業の進捗状況	—			
(3)今後の見通し	工 事		用 地 等	
	優先整備区間のうち、主要地方道日立笠間線から北側について、早期の供用を目指し整備を進める。残る区間についても、まとまった用地が確保できたところから順次工事を進めていく。		優先整備区間の用地取得に努めていく。	

5 評価内容

(1)事業の必要性	本路線は県北地域を縦断する重要な幹線道路であり、特に朝夕や行楽シーズンには渋滞が激しく、県北地域の観光振興にマイナス要因ともなっている。このため地域の振興と交通安全、並びに那珂ICへのアクセス機能の強化を図る上で事業の必要性は高い。					
	社会情勢等の変化に関する指標1	計画時の状況	現時点での状況	社会情勢等の変化に関する指標2	計画時の状況	現時点での状況
	国道118号常陸大宮市下村田地内交通量	24,783台/日	25,768台/日 (H27センサス)	—	—	—
(2)事業の有効性	本事業の実施により、那珂市の現道から常陸大宮市の現道間(約8km)の通過時間が約4分短縮されるとともに、現道の交通量(H42)も約75%減少することが予想されることから、本事業は利便性の向上等に有効であると考えられる。					
	効果予測に関する指標1	事業なし	事業あり	効果予測に関する指標2	事業なし	事業あり
	那珂市現道～常陸大宮市現道の通過時間(H42)	13分	9分	那珂市飯田現道交通量(H42)	11,900台/日	3,000台/日
	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり	効果算定要因に関する指標1	事業なし	事業あり
	常陸大宮市下村田将来交通量(H42)	11,000台/日	16,400台/日	—	—	—
(3)事業の効率性	ア) 主な効果 (B) ①当該路線の整備により、那珂市飯田から常陸大宮市下村田までの約8.3km区間において、走行時間の短縮(210億円)、及び走行経費の減少(8億円)、交通事故の減少(7億円)が図られる。(合計225億円) ②那珂市及び常陸大宮市市街地の交通混雑が緩和されるとともに、那珂IC、県北方面へのアクセスが改善される。 ③JR水郡線 常陸大宮駅、静駅、瓜連駅へのアクセス向上が図られる。 ④瓜連小学校、上野小学校の通学路に指定されている片側・狭小歩道区間の拡幅改良により、歩行者・自転車の安全性の向上が図られる。 イ) 主な費用 (C) ①事業費 163億円 ②維持管理費 7億円 計 170億円 主な効果のうち貨幣化が可能な①について事業の効率性を分析した結果は以下のとおりである。 参考となる指標 B/C = 1.33					
(4)地元の意向	国道118号改修期成会（会長：那珂市長、関係市町村：常陸大宮市、大子町、水戸市）から、茨城県北部地域の広域的な経済・文化の交流、地域振興の促進と奥久慈地域へのアクセス向上のため、早期完成の強い要請がある。					
(5)コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・盛土工事における建設発生土の利用によりコスト縮減を図る。 ・再生材の活用によりコスト縮減を図る。 					

6 対応方針

市街地の交通渋滞の緩和や常磐道那珂IC等へのアクセス強化を図るためにも、事業を継続したい。

7 再評価委員会の意見

継続することが妥当である。

8 委員会の意見を踏まえた対応

部分供用による効果の早期発現に務め、期間内の完成を目指し、現計画で事業を進める。